

2017年  
クイーン倶楽部だより 01月号  
第167号

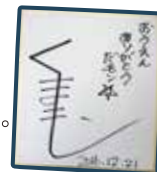
ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
URL <http://www.eco-rice.jp/>  
E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)



エコ・ライスに  
くまモンが来方モン!  
- 熊本地震支援御礼 -



熊本地震の被災地への支援活動の御礼にくまモンが来県。エコ・ライスが支援をしていたことを聞きつけ、立ち寄ってくれました。米倉庫に総勢20名ほどが集合。くまモンから感謝の色紙を受け取ったあと、全員でくまモン体操を踊り、一緒に素敵な時間を過ごしました。くまモンありがとう！



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

本年が会員の皆様にとって幸多き一年になることを心より祈念いたします。天候の変化が著しい昨今ですが、長年培った農家の感で今年も皆様に満足していただけるお米をお届けできるよう頑張っております。

今年もご愛顧の程、よろしくお願ひ申し上げます。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクター "N" の 私にも一言言わせて

その 21

※ドクター…英語で博士の意味

桜の花が見られない

伊豆の伊東の定宿に数人連れで泊まりにきました。その翌日の朝、ロビーでK女史が三十代の男性の脇腹に手をあてていました。K女史は手で不思議と治せる能力を備えています。男性は非常に暗い表情で虚ろな眼で下を向いていました。私は咄嗟に余命幾ばくも無い末期がん患者と判りました。

この宿は、腎臓のがんの全身転移があり、余命半年と宣告され闘病しつつ、三年目でホテルを創り、現在六年目のアメリカ人のRさんががん駆け込み宿として経営されています。私は医師として、K女史は施術師でこの宿に来てがん末期患者にアドバイスしています。

男性は体調不良で、病院を受診検査した結果、全身転移の末期がんと宣告されたそうです。青天の霹靂の一撃で、ショックで頭真っ白で茫然自失です。さらに一撃「桜の花は見れません」と念押しされました。

そういう中にこの宿に泊まりました。現代の医学は残酷です。真実を伝え、対処は施しません。三か月後に死ぬかどうかは単に統計的にそうだけというだけです。死相が現れて宣告すれば科学的根拠といえますが、医者への動機は希望を与えることです。生きがいこそが最大の治療薬です。

男性は呉服店を経営していて、趣味はサーフィンといたましたので、サーフィンのファッションを展開すべきと助言しました。夫人の運転で足立区からやってきたので、帰りは海の見える喫茶店でコーヒーを楽しみつつ帰るよう指示しました。

私はあと半年もたない、これで何とかなると三百万円提示する医師を知っています。いわゆる弱いつけこみ商法ですが、同業者として恥ずかしい限りですが、現代の医学教育は技術教育のみで、こころ教育がない現実です。